



医師会 健康講座

肝炎ウイルス検査を受けましょう

富山医院（鬼北町近永） 富山 毅



療が目まぐるしく進歩しています。できるだけ早く治療を始めることが何より大事なので、ぜひ一度、肝炎ウイルス検査を受けましょう。

日本人の2人に1人はがんにかかり、3人に1人はがんで死亡します。そのがんの中でも確実に予防できるがんがあることはご存じでしょうか？それは肝臓がんです。肝臓がんはがんの中でもたちが悪く、年間3万人が死亡しています。愛媛県は、平成26年の肝臓がん年齢調整死亡率（75歳未満）が全国第1位でした。肝臓がんを予防できる時代になっているにもかかわらず、愛媛県では肝炎検査受診者数が1万人あたり35人と全国平均の42人より、かなり低いことが問題となっています。

肝臓がんの約90%はウイルス性肝炎由来で、C型肝炎75%、B型肝炎15%、そのほか10%は脂肪性肝炎などとなっています。C型肝炎ウイルスに感染すると、体はそれを排除しようとしてウイルスを攻撃します。そのときに肝細胞と一緒に破壊してしまうため肝臓に

炎症がおこり、肝炎になります。ウイルスに感染してから2週間〜1カ月後に急性肝炎をおこし、その後約70%の人は治らずに慢性化します。いったん慢性化すると自然に治ることはほとんどなく、肝硬変や肝臓がんへと進展してしまいます。

肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、肝炎になっても自覚症状はありません。そのため、気づかないまま20〜30年で肝臓がんへと病気が進んでいきます。進むスピードは個人差があり、6歳をこえると肝臓がんになる確率が高くなります。病気が進むと治療も難しくなります。早めに検査して、感染していないか確認しましょう。

C型肝炎ウイルスは血液を介して感染します。1989年にC型肝炎ウイルスが発見される前は、感染している人の血液を輸血した

り、汚染された注射器や注射針を使用してしまうことで感染してました。今は献血時の検査が確立し、使い捨ての注射器が普及したことなどから、医療行為で感染することはありません。ピアスやタトゥーは十分に消毒されていない器具を使うと感染の可能性があります。歯ブラシやカミソリの共用はさけて、外傷や皮膚炎、鼻血などはできるだけ自分で手当てするようにしましょう。

肝炎ウイルス検査は数分で済む採血検査です。一般的な健診の肝機能検査では、肝炎ウイルス感染の有無はわかりません。保健所や指定医療機関で、無料で検査を受けることができます。

日本人の40人に1人が、肝炎ウイルスに感染しているといわれています。C型肝炎の治療では、飲み薬の新薬が発売されるなど、治

